



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東大

上場会社名 日本精線株式会社
コード番号 5659 URL <http://www.n-seisen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 龍夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中川 幸朋
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 06-6222-5432
平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,017	2.9	1,871	3.8	1,904	4.4	1,192	32.7
23年3月期第2四半期	16,535	68.3	1,802	—	1,825	—	898	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,092百万円 (44.1%) 23年3月期第2四半期 758百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	36.81	—
23年3月期第2四半期	27.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	31,448	20,780	65.6	637.14
23年3月期	32,183	19,850	61.2	608.49

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,634百万円 23年3月期 19,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	5.7	3,760	8.1	3,850	8.3	2,270	10.0	70.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	32,461,468 株	23年3月期	32,461,468 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	74,458 株	23年3月期	73,701 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	32,387,246 株	23年3月期2Q	32,397,717 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災によるサプライチェーン寸断やその後の夏季電力供給制限など経済活動に多くの制約を受けましたが、後半は一部産業分野の急激な立ち上がりにより回復傾向もみられました。しかしながら、欧州債務危機に端を発する世界経済の減速や超円高の進行など懸念材料は多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）が属するステンレス鋼線業界におきましても、震災後の自動車業界や家電業界の生産活動の低下などの影響により出荷数量は、前年同期に比べ約10%強減少するなど厳しい状況にありました。

このような状況下、当社グループでは、1) ROA10%以上、2) 海外売上高比率25%以上、3) 高機能製品・独自製品（ばね用材、耐熱ボルト用材、金属繊維など）の売上高60%以上などを経営目標とする『第11次中期計画』（最終年度平成24年3月期）の達成に向け、収益の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。

主力のステンレス鋼線部門では、東日本大震災の影響で需要が総じて減少したことにより、販売数量は減少いたしました。一方でデジタル機器向けの高機能製品の需要が高水準で推移したことや自動車産業が後半急回復したこと、加えてニッケル価格変動に伴う販売価格引上げ効果により、売上高は前年同期に比べ微増となりました。また、金属繊維部門では、半導体向けの超精密ガスフィルター（ナスクリーン）が半導体業界の投資活動に調整が入ったことにより、後半には減少傾向となりましたが、主力のナスロンフィルター分野が高機能樹脂や化合繊維向けの旺盛な需要に支えられ堅調に推移したことにより、前年同期に比べ増加いたしました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は170億17百万円と前年同期比2.9%の増収となりました。損益につきましては、高機能・独自製品の売上増やニッケル価格に起因する増益効果などにより営業利益18億71百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益19億4百万円（同4.4%増）、四半期純利益11億92百万円（同32.7%増）と前年同期比増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、314億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億34百万円減少いたしました。流動資産は191億19百万円となり、11億7百万円減少いたしました。主な要因は法人税の支払いによる現金及び預金の減少（12億33百万円）などです。固定資産は123億29百万円となり、設備投資の実施などにより3億73百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、106億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億64百万円減少いたしました。流動負債は69億53百万円となり、15億85百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少（10億11百万円）などです。固定負債は37億15百万円となり、79百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は207億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億30百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は61億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億33百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動におけるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ14億48百万円減少し1億99百万円の収入となりました。これは、主に法人税等支払額の増加などの減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ4億27百万円支出が増加しました。主な要因は、有形固定資産取得による支出が増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支出額が増加したことにより、前年同期に比べて44百万円支出が増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月4日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,358	6,124
受取手形及び売掛金	6,763	6,785
商品及び製品	1,779	2,043
仕掛品	2,301	2,350
原材料及び貯蔵品	1,443	1,295
繰延税金資産	423	320
その他	156	198
流動資産合計	20,227	19,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,948	2,988
機械装置及び運搬具（純額）	4,161	4,594
土地	1,743	1,731
リース資産（純額）	29	24
建設仮勘定	280	250
その他（純額）	214	238
有形固定資産合計	9,378	9,826
無形固定資産	410	381
投資その他の資産	2,167	2,121
固定資産合計	11,956	12,329
資産合計	32,183	31,448
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,521	4,301
短期借入金	821	647
未払法人税等	1,703	691
賞与引当金	590	550
役員賞与引当金	41	—
その他	859	761
流動負債合計	8,538	6,953
固定負債		
長期借入金	625	540
退職給付引当金	2,879	2,922
役員退職慰労引当金	107	92
環境対策引当金	19	—
資産除去債務	72	72
その他	91	88
固定負債合計	3,794	3,715
負債合計	12,333	10,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,446	5,446
利益剰余金	9,599	10,629
自己株式	△29	△29
株主資本合計	20,016	21,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△45
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	127	127
為替換算調整勘定	△437	△493
その他の包括利益累計額合計	△308	△411
少数株主持分	142	145
純資産合計	19,850	20,780
負債純資産合計	32,183	31,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,535	17,017
売上原価	13,346	13,777
売上総利益	3,188	3,240
販売費及び一般管理費	1,386	1,368
営業利益	1,802	1,871
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	19	11
還付事業税	—	23
その他	32	22
営業外収益合計	55	59
営業外費用		
支払利息	12	11
売上割引	10	10
その他	9	4
営業外費用合計	32	26
経常利益	1,825	1,904
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	10	15
ゴルフ会員権評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109	—
特別損失合計	119	16
税金等調整前四半期純利益	1,705	1,888
法人税、住民税及び事業税	861	594
法人税等調整額	△44	97
法人税等合計	817	691
少数株主損益調整前四半期純利益	888	1,196
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10	4
四半期純利益	898	1,192

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	888	1,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	△46
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△11	△58
その他の包括利益合計	△130	△104
四半期包括利益	758	1,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	772	1,089
少数株主に係る四半期包括利益	△14	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,705	1,888
減価償却費	625	644
ゴルフ会員権評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3	42
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△23	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△40
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△41
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	△19
受取利息及び受取配当金	△22	△13
支払利息	12	11
為替差損益 (△は益)	0	△0
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	0
有形固定資産除却損	10	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△288	△11
前受金の増減額 (△は減少)	3	15
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△90	△174
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△27	△66
仕入債務の増減額 (△は減少)	△243	△232
未払消費税等の増減額 (△は減少)	53	△75
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△9	△129
小計	1,819	1,798
利息及び配当金の受取額	22	13
利息の支払額	△13	△11
法人税等の支払額	△179	△1,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,648	199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△564	△965
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△6	△24
その他	11	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△559	△986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11	△0
長期借入金の返済による支出	△248	△248
リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△129	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368	△412
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	721	△1,233
現金及び現金同等物の期首残高	5,141	7,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,863	6,165

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。